

# 山之内病院 一般病棟通信



一般病棟では、肺炎、心不全、脳梗塞などの急性期の患者様が多く入院されており、整形外科医師も外来診療しているため、骨折の患者様も入院されています。また、当院では透析も行っているため、シャント造設術や腹膜透析の患者様の入院もあります。糖尿病認定医師も在籍しているため、糖尿病療養指導士を中心に糖尿病教育にも力をいれております。また、大学病院や総合病院からターミナル期の患者様や施設や在宅に向けて調整が必要な患者様の受け入れも行っており、急性期から慢性期、内科系、外科系を問わず様々な疾患の患者様の看護実践を行っております。

退院調整が必要な患者様には、退院調整看護師とソーシャルワーカーが中心となり、ご家族と相談し退院に向けて調整を行っています。平成 27 年度より電子カルテを導入、看護記録は電子カルテで入力しています。病棟の教育委員会を中心に勤務時間内で受けられる勉強会を開催し、知識や技術の向上にも努めています。

看護スタッフは子育て期間中や子育てを終えたスタッフが多く、仕事だけでなく子育ての面での相談もしやすい環境で、小さなお子さんがいる方でも働きやすい病棟です。

一般病棟 看護師長 古茶弘美



## 院長回診

他職種で連携し患者様の情報を共有、退院支援を行うため、週 1 回院長回診時には他職種の方々とカンファレンスを行いながら病棟ラウンドをしています。

## 退院調整カンファレンス

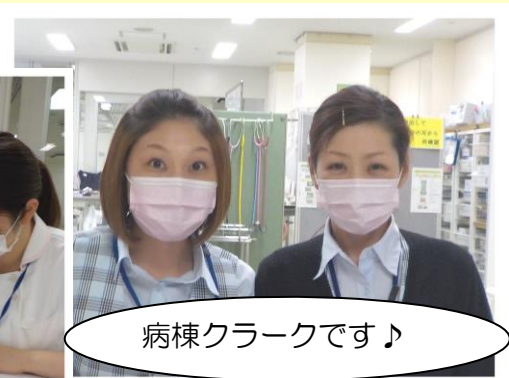
病棟看護師、退院調整看護師、ソーシャルワーカーで週 1 回カンファレンスを行い患者様の情報共有を行っています。



みなさんの負担にならないよう、勤務時間内での勉強会を開催しています。by 古茶師長



申し送りに中！

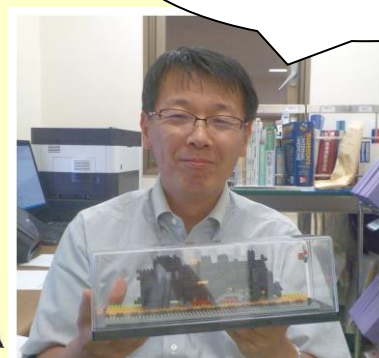


病棟クランクです♪



ナースステーションのカウンターには私がナノブロックで作った自動車や車が並んでいます。by 院長

緑の服は看護補助者さん。情報共有して患者さんのケアにあたっています。



## 新人看護師の声

### 佐久間智恵 H28 年度入職

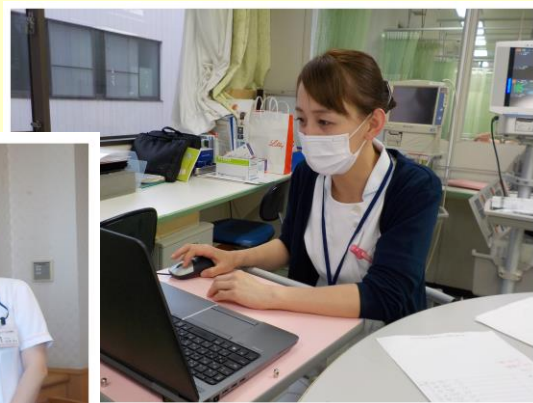


帝京平成短期大学を卒業後当院に就職しました。  
療養病棟に8か月在席し、現在は一般病棟で働いています。  
一般病棟では、様々な疾患の患者様が入院しており、慣れるまでに時間がかかりましたが、日々の忙しい中でも、困ったときに声を掛けてくださったり、助言を頂いたりとお優しい先輩方の中で毎日頑張っています。まだまだ未熟な所もありますが、患者様に信頼される看護師を目標に、これからも努力していきたいと思っています。

### 井下田英里 H29 年度入職



夷隅准看護学校に通いながら、当院で看護補助者として働き、H29年4月に准看護師として入職しました。入職した頃は技術、知識に不安も多くやっていけるかどうか不安でいっぱいでしたが、先輩方から丁寧な指導やアドバイスを頂き、また疑問や相談事も親身になって聞いてくださるので、とても働きやすい環境の中で仕事をする事ができています。少しずつ日常業務や病棟にも慣れてきていますが、まだまだ学ぶことも多く、大変に感じることもあります。でも応援してくれる環境もあり、ステップアップへ向けて進んでいければと思っています。



## 教育担当者の声

### 森田美由紀



当院ではプリセプターシップを導入しています。3-4年目になる看護師がいないため、彼女たちよりだいぶ年上の自分がプリセプターをしていましたが、今後は彼女たちがプリセプターとなり、新人看護師の方々に指導していただけるようになると思います。大きな病院とは異なり、新人さんが多く入職されないため、他院のような新人集合研修はできませんが、技術チェックリストに沿って指導を行い、多くの技術を経験し、知識が深められるよう指導しています。また千葉県看護協会で行われる研修に参加することで、院内では経験できない技術、知識の向上に努めています。当院だけでなく、他院での経験や専門分野での経験も豊富なスタッフが揃っており、様々な経験談を聞けるのもこの病棟の良いところだと思います。

## 退院調整看護師の声

### 退院調整看護師 藤平さおり

12年間働いた大学病院を退職後、ふとしたきっかけから訪問看護師として5年ほど働き、その後山之内病院に就職しました。退院調整に携わるようになって今年で4年目になります。訪問看護師をしていたので、在宅看護や地域看護にはもともと興味はありました。配属当初は何から手を付けたらよいのかもわからず、途方に暮れていました。その後いろんな研修会に参加したり、他病院で業務されている退院調整看護師のところへ研修に出向いたり、地域看護や退院調整を学ぶ日々が続きました。そして現在、退院支援部門としてソーシャルワーカーと共に退院調整業務にあたっています。

さて、退院調整看護師ってどんな看護師？と、疑問に思う方もいると思います。退院調整看護師とは、簡単に言えば病院と在宅（施設）をつなぐ役割を担っている看護師の事です。治療を終えた患者さんが安心して退院できるよう、ソーシャルワーカーはじめ病棟・外来看護師、リハビリ、ケアマネジャーを含む在宅支援チームと共に、他職種と連携を取り退院の準備をしていきます。退院後にすぐに再入院にならないよう、病棟看護師と協力してインスリン自己注射や経管栄養管理、吸引処置など退院指導にも力を入れています。在宅での生活に不安があるまま退院する場合、訪問看護師介入の依頼も行い、必要な方には私も自宅へ訪問し、訪問看護師さんと家族も含め在宅での申し送りをしています。

また、在宅での療養生活が困難な場合は、施設の選定から関わっていきます。毎週病棟での退院前カンファレンスも行っており、病棟スタッフ内での患者さんの情報共有を心がけています。

病院は治療の場です。治療が終了したら、本来住み慣れた自宅又は施設で生活していく事が、患者さんの生きていく力を高めていきます。退院調整に、「入院は人生のほんの一部」という言葉があります。退院とは、患者さんが元の生活の場に戻るといことです。住み慣れた地域で過ごしたいという患者さんの思いに寄り添うことが、退院調整に最も必要なことだと考えます。在宅調整が困難な患者さんも少なくありませんが、それでもこの地域の方々の退院のお手伝いをしていけたらと思っています。



## 糖尿病療養指導士の声

### 糖尿病療養指導士 新井永子

看護師になり大半は教育の分野で勤務しています。特に糖尿病看護では専門的に患者さんに関わらせていただいています。入院してくる糖尿病患者さんには血糖コントロール不良となる生活習慣があります。それは何か共に考え内発的動機付けを行い、行動変容へと導いていきます。人の考えを変えるのは簡単な事ではありません。

そのため糖尿病治療は医師・看護師・栄養士・理学療法士など多職種でチームを作り多角的に関わっていきます。患者さんとの関りで困難を感じた時、相談できる環境があります。

当院でも糖尿病チームを作り、教育入院強化のため、毎月会議を開いています。現在はクリティカルパスを使用した教育入院プログラムを構築しています。「合併症の進行を抑えその人らしい生活」が送れるよう援助していきたくと考えています。当院は日本糖尿病学会専門医が常勤しており糖尿病療養指導士の資格取得ができます。またグルコースモニタリングシステムの実例や糖尿病専門医院の見学、症例発表など専門的な知識を学ぶことができます。私も日々学んでいます。



子育てスタッフの声①

現在二人の子供を育てながら勤務しています。入職後は常勤で働いていましたが、二人目出産後は育児時間の利用、その後はパートとなり勤務しています。育児経験豊富なスタッフも多く、仕事以外でも育児の相談をしたり、アドバイスをもらったりと頼りになるスタッフが多いです。勤務時間内に病棟主催の勉強会があり、知識も増やせます。育児と仕事が無理なくできる働きやすい病院だと思います。

子育てスタッフの声②

主人の転勤で長生郡に来ましたので、地域の病院のことはわからず、住まいに近い病院を選びました。入職当時子ども二人は保育園児だったので、パートとして働き始めましたが、子どもの急な発熱、通院などで仕事を休まなければならないことも多くありました。子育てを終えた先輩方、子育て中の方も多くいますので、子どもの心配をしてくださったり、気にしないでと声をかけてくださったりと、温かい言葉に助けられながら、仕事を続けることができました。子どもたちが小学生になった現在、常勤として働き、部署の教育担当や褥瘡委員など、自分の興味のある分野での勉強や仕事もやらせてもらうようになっています。院内保育園、病児保育も完備されており、子育てと仕事の両立ができる職場だと思います。



ベテランスタッフのみなさんも優しく、楽しい方たちで、子育て世代も安心です。



## 看護補助者の声

看護補助者は、医療チームの一員として大切な存在であるとともに、患者さんにとって身近な存在です。一般病棟は急性期の患者様が入院されていますので、入退院の準備や、検査の送迎、食事介助、保清など看護補助者の方々の力が非常に重要な病棟です。忙しいですが、看護補助者同士、また看護師と協力しあって業務にあたっています。

### 業務内容

#### 入院患者さんの日常生活のサポート

- 食事の配膳、セッティング
- 入浴や洗髪、清拭の介助
- 車いす移動、歩行の介助
- トイレの誘導・介助、オムツ交換
- ベッドで寝ている患者さんの体位交換の介助 など



#### 快適で安全な療養環境の整備

- シーツ交換
- 病室の温度調整や換気、騒音などの確認
- 病棟で使う診療材料の補充、整理整頓など



#### 治療や処置が円滑に進むための補助

- 診療に必要な物品の準備、片付け
- 医療器具の洗浄



#### 看護補助者 須藤幸子

山之内病院に入職して5年と1か月たちました。他院での補助者経験は7年半ほどありましたが、仕事内容が違ったため、覚えることもたくさんあり、不安な毎日でした。

そんな中、私のプリセプターになってくれた先輩補助者さんに1から親切に指導してもらい、楽しく仕事ができることを覚えています。

スタッフはみんな明るく、コミュニケーションも良好で働きやすい職場です。また患者様からの感謝の言葉も励みになります。これからもこのやりがいのある看護補助者の仕事を頑張って続けていきたいと思っています。

